

溶剤系2液型エポキシ樹脂塗料
ボウジン テックス
#2700EX



- 帯電防止
- 耐久性
- 工程短縮

静電気対策、帯電防止、工程短縮

静電気の安全管理は、静電気の帯電を防止することから始まります。静電気は、工場・事業所の多くの箇所で発生・帯電しています。通常は、ほとんど問題になることはありませんが、条件が揃うと事故・災害に発展することがあります。静電気の帯電防止は、突発的な静電気障害・災害の発生を防止し、被害を局限化するため重要な役割を果たすものです。

ボウジンテックス#2700EXは、静電気の帯電を防止するとともにこれまで必要であった導電層(D黒)の工程を省くことが可能になりました。



特長・用途

特長

F☆☆☆☆

ホルムアルデヒドの発散は少ない
建築基準法、建築材料の区分は規制対象外となっている

- 1 塗床から静電気を漏洩し帯電を防止する
- 2 安定した抵抗値を有している
- 3 エポキシ樹脂の特性である優れた耐久性、耐薬品性、耐摩耗性を有している

用途

- 1 静電気をきらう工場、倉庫(粉体、火薬、電子部品組立等)
- 2 コンピュータールーム、クリーンルーム



静電気をきらう
工場および作業場



静電気をきらう
サーバ室・クリーンルーム

性能・荷姿

性能			
試験項目	試験方法	結果	試験後抵抗値
鏡面光沢度	JIS K 5600-4-7に準ずる。 ガラス板に塗付200μm, 60度	70以上	
引っかかり硬度 (鉛筆法)	JIS K 5600-5-4に準ずる。 すり傷	H	
耐摩耗性 (mg)(摩耗輪法)	JIS K 5600-5-9に準ずる。 摩耗輪CS-17荷重500g×2, 1000回転	65±5	
耐水性	JIS K 5600-6-1に準ずる。 水道水に1ヶ月間浸せき	異常なし	変化なし
耐アルカリ性	JIS K 5600-6-1に準ずる。 炭酸ナトリウム5%水溶液に48時間浸せき	異常なし	変化なし
耐酸性	JIS K 5600-6-1に準ずる。 硫酸5%水溶液に48時間浸せき	異常なし	変化なし
耐温水性	JIS K 5600-6-1に準ずる。 50℃温水に48時間浸せき	異常なし	変化なし
ホルムアルデヒド 放散量	JIS K 5970 デシケータ法	0.12mg/L以下 F☆☆☆☆	
表面抵抗値	N.F.P.A法	1×10 ⁵ ~1×10 ⁹ Ω	
漏洩抵抗値	静電気安全指針に準ずる	1×10 ⁵ ~1×10 ⁹ Ω	
人体帯電電位	ストロー法	10±5V	

※抵抗値は印加電圧500Vにて測定した結果

荷姿

■上塗り材

ボウジンテックス
#2700EX

15kgセット
(主剤 12kg/硬化剤 3kg)
硬化剤はS(夏型)、
W(冬型)があります

■下塗り材

ボウジンテックス
浸透性シーラーエポ

14kgセット
(主剤 10.5kg/硬化剤 3.5kg)
3.2kgセット
(主剤 2.4kg/硬化剤 0.8kg)

■希釈剤

ボウジンテックス
#2700シンナー

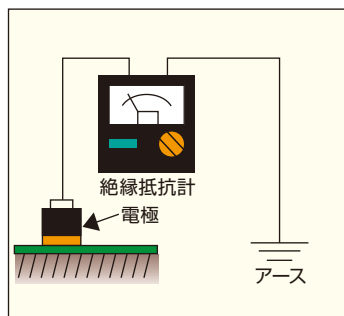
16L・4L
(#2700EX用)

BOUJINTEX #2700EX

測定方法

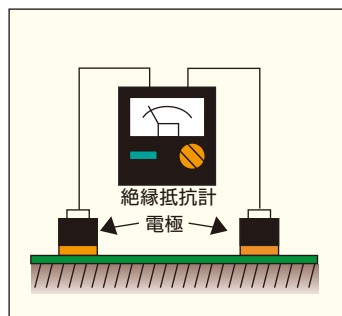
漏洩抵抗値の測定方法

漏洩抵抗値は塗り床と接地間の抵抗値を測定します。



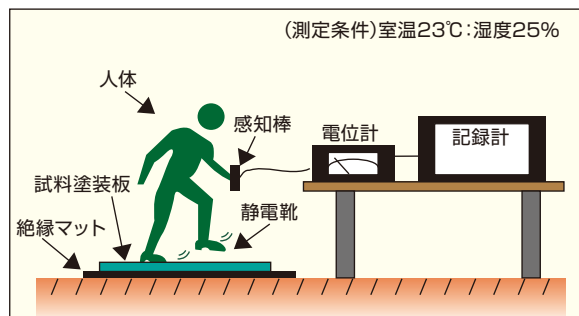
表面抵抗値の測定方法

N.F.P.A (米国防災協会) の定める方法に基づいた床材の測定方法。



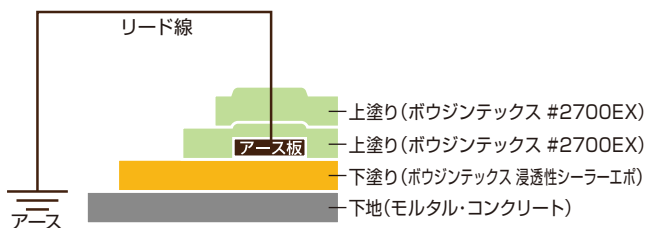
人体帯電電位の測定方法(ストール法)

静電靴を着用して足踏み歩行(約100歩/分)したときの床面との摩擦により発生する人体帯電電位を測定します。

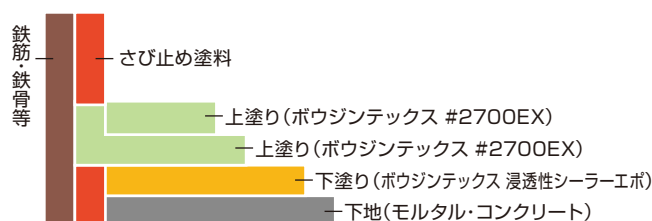


塗装工程

アース板を埋設する場合



鉄筋・鉄骨をアースに用いる場合



※アース板はなるべく歩行の障害にならない部屋の隅や壁際に埋設してください。
 ※アースとして鉄筋・鉄骨等を利用する場合は、あらかじめ#2700EXと接続する部分のさび止め塗料をグラインダー等で剥がして金属部分を出し、#2700EXを接触するように塗装してください。
 ※アース板および鉄筋・鉄骨を利用するアースの有効範囲は半径15m以内です。
 ※アース板のリード線を建物のアース部に接続する際は、事前に関係者と打ち合わせをしてください。
 ※人体に帯電した静電気を除去するためには、静電防止靴などの着用が必要です。(通常の安全靴などは静電防止機能がないものがありますのでご注意ください。)
 ※クリーンルーム内での導電ワックスのご使用は、お客様のご判断にてお願いいたします。

塗装仕様

標準工法

工 程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/㎡/回)	塗面積 (㎡/セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	歩行可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ(モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上)、表面層の水分率5%以下(デジタル水分計)とする。表面層にレイタンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ずポリッシャーまたはライナックス等で下塗りが含浸する下地面になるまで目粗しを行い、次いで丁寧に清掃する。 既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等は下塗り工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填する。									
下 塗 り	ボウジンテックス 浸透性シーラーエポ 主剤 10.5kg 硬化剤 3.5kg	無希釈	ハケ ローラー	1	0.12~0.16	88~117	1h以内	——	4h以上 48h以内	——
ア ー ス	アース板を使用する場合は、下塗り上なるべく歩行の妨げにならない場所にエポキシパテ等で貼り付けてください。 鉄筋・鉄骨等をアースとして利用する場合は、あらかじめ#2700EXと接触する部分のさび止め塗料をグラインダー等で剥がして金属部分を出し、#2700EXを接触するように塗装してください。									
上 塗 り	ボウジンテックス #2700EX 主剤 12kg 硬化剤 3kg	15~20% (#2700 シンナー)	ハケ ローラー	2	0.14~0.18	42~54	2h以内	6h以上 48h以内	——	16h以上 完全硬化 3日以上

※塗付量にシンナーは含まれていません。塗付量は条件により増減します。

※下塗りのすい込みがばいじり場合は2回塗りをしてください。

注 意 事 項

仕 様 全 般

1. 気温5℃以下、相対湿度80%以上、降雨、降雪、結露が予想されるときは、硬化不良を起こすことがありますので施工を見合わせてください。
2. ポウジンテックス #2700EX硬化剤はSとWがありますので、気温20℃前後を目安に、季節にあった硬化剤をご使用ください。
3. ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により色相が異なって見えることがあります。
4. 塗装や塗料取り扱い時には、換気に気を付け火気厳禁としてください。また、溶剤中毒には充分ご注意ください。
5. 下塗りの塗付量が下限値以下の場合には剥離の可能性があります。
6. 換気が不十分である場合、乾燥が遅れるおそれがあります。
7. 化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質(VOC等)に過敏に反応される可能性がありますので、充分ご注意ください。
8. 塗装による臭気で、近隣に迷惑を掛けることがありますので、充分に配慮をお願いします。
9. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

塗料に関する注意

1. 使用前には充分攪拌してください。
2. 2液型塗料の主剤と硬化剤の混合は必ず規定の調合割合で混合し、マゼル等で充分攪拌してください。
3. 2液型塗料には可使時間がありますので可使時間内に塗装してください。
4. 2液型塗料は気温が高い場合極端に可使時間が短くなりますので、手際よく塗装してください。
5. 小分けする場合は、充分攪拌して均一の状態にしてから行ってください。抵抗値が大きくなったり、色浮き・色違い、硬化不良等の原因となります。
6. 市販の希釈用塗料シンナーには多種のシンナーがあり、適合しないものもありますので、必ず専用シンナーをご使用ください。
7. 主剤と硬化剤は別々に密栓し、冷暗所に保管してください。また、開栓後は早目に使い切ってください。
8. 材料の保管、取り扱いは消防法・労働安全衛生法に基づき充分な管理をお願いします。

標 準 色 対 応 表

※受注生産となります。

色 目		
No.1	オレンジブラウン	×
No.6	オレンジ	×
No.9	ライトグリーン	×
No.10	グリーン	×
No.16	ライトベージュ	×
No.17	ベージュ	○
No.19	ライトグレー	○
No.20	ブラウン	×
No.21	フレッシュグリーン	○
No.22	ハーモニーグリーン	○
No.23	オリーブ	×
No.24	アクアグレー	○
No.25	ブルーグレー	○
No.26	サンドベージュ	○
No.27	モカブラウン	○
No.28	ゴールドブラウン	×
No.29	ニューブラウン	×
No.30	フィーバーグリーン	×
No.32	グレー	○

- 使用している導電材の性質上、他ポウジンテックスシリーズとは色味が多少異なります。
- 使用している導電材の性質上、調色できない色もありますのでお問い合わせください。
- 本製品は受注生産対応となります。同じ色であっても色味が多少異なる場合がありますので、1物件は同一ロットをご使用ください。

※常備在庫していない場合がありますので、注文時には在庫の確認をお願いいたします。



水谷ペイント株式会社

LINE公式
アカウント開設！
ID: @521kgmun



水谷HPIは
こちら↓



本 社	☎ 532-0006	大阪市淀川区西三国4-3-90	☎ (06) 6391-3151 FAX (06) 6393-1101
大阪支店	☎ 532-0006	大阪市淀川区西三国4-3-90	☎ (06) 6391-3401 FAX (06) 6391-3456
西日本開発部	☎ 532-0006	大阪市淀川区西三国4-3-90	☎ (06) 6391-3401 FAX (06) 6391-3456
東京支店	☎ 101-0032	東京都千代田区岩本町1-4-5 NS岩本町ビル	☎ (03) 3865-8177 FAX (03) 3865-8760
東日本開発部	☎ 101-0032	東京都千代田区岩本町1-4-5 NS岩本町ビル	☎ (03) 3865-8177 FAX (03) 3865-8760
北関東支店	☎ 348-0038	埼玉県羽生市小松台2-705-22	☎ (048) 563-0355 FAX (048) 563-5124
中部支店	☎ 486-0815	愛知県春日井市十三塚町3-6	☎ (0568) 85-3551 FAX (0568) 85-3556
広島支店	☎ 734-0022	広島市南区東雲1-13-16	☎ (082) 284-6556 FAX (082) 283-0017
福岡支店	☎ 811-2304	福岡県糟屋郡粕屋町仲原2628-1	☎ (092) 611-5731 FAX (092) 621-2301
仙台営業所	☎ 984-0042	仙台市若林区大和町1-22-36	☎ (022) 782-6770 FAX (022) 232-6871
札幌営業所	☎ 007-0850	札幌市東区北50条東2-3-12	☎ (011) 702-5556 FAX (011) 702-5557
工 場	本社・埼玉・中部・広島・福岡		

特約店

カタログ掲載の内容は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
2507050154618